

第48回 SCCJセミナー開催のご案内

なりたい肌を演出する高機能メイクの最新技術 — 見る、魅せる、創る、感じる —

本セミナーは、より良い化粧品を作るために必要な技術情報を提供すべく取り組んで参りました。今回は、メイク製品、特にベースメイクに焦点を当てて、業界内外の7人の講師の方々からお話いただきます。美しいと感じる顔や化粧についての心理学的なお話から、光の仕組み、肌の質感のこと、素材開発や製剤設計、評価手法について、高機能メイク製品を実現するための最新技術をお話いただきます。また、メイク製品開発にあたっての失敗談など、貴重なご経験も紹介いただく予定です。さらに、時間に限りある講演の中だけでは語りつくせない情報を、講師の方々との議論の中から入手していただくフリーディスカッションの時間をご用意いたしました。講師の皆様と直接お話いただくことで、講演の内容理解がより深まり、また、講演を聴くだけでは得られないタネが見つけれられることと思います。皆様には、奮ってご参加いただきますようお願いいたします。

日 時 2016年9月16日(金) 10:00~18:05 (受付開始 9:30 予定)

会 場 セミナー：きゅりあん 8階 大ホール
フリーディスカッション： 同会場 7階 イベントホール
〒140-0011 東京都品川区東大井 5-18-1
<http://www.shinagawa-culture.or.jp>

参加費

会員(正・準・シニア)	13,000 円
代理出席(注1)	13,000 円
一般	19,000 円
当日参加(会員・一般共に)	19,000 円

(注1) 正会員が不参加の場合は代理人1名が代理出席を利用できます。

申込方法 申込用紙に必要事項をご記入の上、下記の番号までFAXを送信下さい。

FAX ⇒ 045-590-6093

申込をいただきましたら確認のFAXを事務局から返信いたします。3~4日以内に届かない場合は、事務局までご連絡を下さい。なお、参加証は発行していません。

<申込締切日 9月2日(金)>

<振込締切日 9月9日(金)>

お振込みの際、振込人氏名(御社名)の前に**48**をご記入願います。

振込先 みずほ銀行 銀座支店 普通 1797932
「日本化粧品技術者会 代表 嶋原 靖宏(シギハラ ヤスヒロ)」

キャンセルおよび複数でのお振込みの詳細は最終ページをご覧ください。

なりたい肌を演出する高機能メイクの最新技術 — 見る、魅せる、創る、感じる —

< スケジュール >

※講演時間が変更になりました < 総合司会 高橋和久 (株)日本色材工業研究所 >

時間	題目・講師
10:00-10:05 9:45 - 9:50	開会の挨拶 セミナー委員長 植田光一

< 座長 小又昭彦 (株)資生堂 >

10:05-10:55 9:50 - 10:40	恋される顔のルール — 顔や化粧の不思議 — 理化学研究所 脳科学総合研究センター 上田彩子先生
10:55-11:45 10:40 - 11:30	コスメティクスにおける肌の質感評価 花王(株) スキンケア研究所 五十嵐崇訓氏
11:45-12:50 11:30 - 12:25	昼食休憩

< 座長 今井健仁 (ホーユー(株)) >

12:50-13:30 12:25 - 13:05	生体親和成分を用いた表面処理粉体の開発とファンデーションへの応用 (株)コーセー 研究所 メイク製品研究室 村松慎介氏
13:30-14:10 13:05 - 13:45	界面安定化技術を駆使したファンデーションの開発 ポーラ化成工業(株) 品質研究部 品質分析室 西川正一郎氏
14:10-14:50 13:45 - 14:25	重ねたメイクがお湯で落ちる化粧下地の開発 (株)資生堂 グローバルイノベーションセンター 大橋しほ花氏
14:50-15:00 14:25 - 14:35	休憩

< 座長 吉武裕一郎 (オッペン化粧品(株)) >

15:00-15:50 14:35 - 15:25	色の仕組み・測定原理とその注意点 コニカミノルタジャパン(株) 森俊司氏
15:50-16:40 15:25 - 16:15	ベースメイクにおける私のチャレンジ ～失敗と成功～ 福井技術士事務所 福井寛氏

< 総合司会 高橋和久 (株)日本色材工業研究所 >

16:50-18:00 16:20 - 17:20	フリーディスカッション
---	-------------

18:00-18:05 17:20 - 17:25	閉会の挨拶 セミナー副委員長 石井博治
---	------------------------

演題 ① 恋される顔のルール — 顔や化粧の不思議 —

理化学研究所 脳科学総合研究センター 上田彩子先生

要旨： どうして人間は他人や自分の顔がどうしても気になってしまうのでしょうか？ 美しい顔の持ち主は本当に得をしているのでしょうか？ そもそも、私たちが美しいと感じる顔はどんな要素から成立しているのでしょうか？ メイクは本当に魅力的になれるのでしょうか？ など、顔にまつわる身近な疑問について、心理学の観点から、これまでに取り組まれた顔研究・メイク効果研究の知見を紹介しつつ、わかりやすく謎解きをしていきます。

演題 ② コスメティクスにおける肌の質感評価

花王(株) スキンケア研究所 五十嵐崇訓氏

要旨： ベースメイクアップ製品やスキンケア製品の設計開発を行ううえで、肌の質感は重要な評価対象である。肌質感を客観評価するため、従来から質感を光学的観点から解析する手法が提案されてきた。これに加え、最近では画像技術の急速な発展に伴い、質感を肌の画像特徴量の観点から解析する手法が数多く提案されている。本講演では、これらの背景を踏まえ、製品の設計開発を目的とした肌質感の光学・画像解析事例を紹介する。

演題 ③ 生体親和成分を用いた表面処理粉体の開発とファンデーションへの応用

(株)コーセー 研究所 メイク製品研究室 村松慎介氏

要旨： ファンデーションには、肌欠点のカバー、仕上がり質感の付与、肌の保護、良好な使用感などの様々な機能・品質が求められる。ファンデーションの機能・品質を向上するための手段の一つとして粉体の表面改質技術が重要であることから、分散性、化粧持ち、使用感などの向上を目的として、各種表面処理粉体が精力的に開発されている。本講演では、肌との相互作用を示す生体親和成分に着目した表面処理粉体の開発と、その応用として、触っても落ちにくい機能などの特徴を有する製品への展開を紹介する。

演題 ④ 界面安定化技術を駆使したファンデーションの開発

ポーラ化成工業(株) 品質研究部 品質分析室 西川正一郎氏

要旨： ファンデーションはパウダー剤型、乳化剤型をはじめとして、目的に合わせて様々な剤型が用いられる。美しい仕上がり、みずみずしい感触と高い化粧持ち効果をえるために、W / O タイプの乳化剤型が用いられる。しかし、O / W タイプに比べて乳化安定性が悪い点、また粉体の分散不良といった課題もある。本講演では、界面安定化技術を駆使することで、これらの課題を解決し、商品へ応用した事例を紹介する。

演題 ⑤ 重ねたメイクがお湯で落ちる化粧下地の開発

(株)資生堂 グローバルイノベーションセンター 大橋しほ花氏

要旨： 近年、効率良く時間を消費し、実りある豊かな生活をしたいという意識が高まっている。その中でもメイク落としは最も面倒なスキンケアであると、現代女性は感じている。女性たちの面倒な行為を改善するため、メイクの前に化粧下地を使うと、クレンジング料を使わずに、お湯でメイクが落ちる次世代の化粧下地を開発した。もっと気軽にメイクを楽しめるような「新たな化粧習慣」を実現することのできる化粧品の開発について紹介する。

演題 ⑥ 色の仕組み・測定原理とその注意点

コニカミノルタジャパン(株) 森俊司氏

要旨： 化粧品や肌の評価において、色の測定は欠かせない評価指標の一つである。測色計を使用することで定量的な評価は可能であるが、測定再現性や目視相関を高める場合には、様々な注意点が生じる。本講演では、色の仕組み・測定原理・L*a*b*表色系といった測色の基本知識に加え、メタメリズム(条件等色)・サーモクロミズム(温度による色変化)・エッジロスエラー(半透過物で生じる測定誤差)等の特に重要な注意点について説明を行う。

演題 ⑦ ベースメイクにおける私のチャレンジ ～失敗と成功～

福井技術士事務所 福井寛氏

要旨： ベースメイクには粉末が入っていて、色や使用性を調整するのが難しく、また安定性も悪かった。“God made solids, but surfaces were the work of the Devil.” とはパウリの言葉であるが、昔は「粉は魔物」と言われていたのだ。この魔物を調べ、その特徴を使ってベースメイク用粉末の処理方法を開発したことや「ピーカーワーク」と量産の違いなどについて述べる。

〈お願い事項〉

- キャンセルされる場合は、**9月9日(金)**までにご連絡をお願いいたします。参加費納入済みの場合には、後日返金いたします。**9月10日(土)**以降にキャンセルされたときは、ご返金できません。
- 申込書に記入された振込金額と異なる場合は、必ず事務局まで **FAX (045-590-6093)**にてお知らせ下さい。入金確認業務の円滑化にご協力をお願いいたします。

〈お問合せ・お申し込み先〉

日本化粧品技術者会 事務局 (本部) (森、千葉)

〒224-8558

神奈川県横浜市都筑区早渕2-2-1 (株)資生堂 リサーチセンター内

TEL : 045-590-6025 FAX : 045-590-6093

会場案内図

まゆりあん

品川区立総合区民会館

〒140-0011 品川区東大井5-18-1

<http://www.shinagawa-culture.or.jp>

● 交通のご案内

JR京浜東北線・東急大井町線・りんかい線大井町駅下車徒歩1分

